

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

児童が郷土に愛着と誇りをもち、自信をもって主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する。
児童・地域・保護者から信頼される、開かれた学校となる。

II ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）**【学校教育目標】**

自ら学び、ともに伸びる子どもの育成 ～「みんな たのしく かつこいい」学校～

【児童像】

- ・ 学び方を身に付け、主体的に学び考える子
- ・ 仲間や地域を思い、協働して学ぶ子
- ・ 自分を理解し、向上心をもって挑戦する子

【教職員像】

- ・ 子どもを理解し、資質・能力を伸ばす
- ・ 自己研鑽に努め、個別最適な学びを実現する
- ・ 教育公務員としての自覚をもち、誠実に職務を遂行する

III 現状分析**【確かな学力】**

○令和 7 年度江田島市標準学力調査において第 4 学年国語以外は目標値を上回った。領域別に見ると、第 6 学年国語「我が国の言語文化に関する事項」、第 5 学年及び第 6 学年算数「変化と関係」、第 5 学年理科「物質・エネルギー」において平均正答率 60%を下回った。ただ、児童数が少ないため数値のみならず、児童一人一人の学びのつまづきを分析していく必要がある。

○「個別最適な学び」の手法としての単元内自由進捗学習により自己調整力や自己効力感を育ててきた。自己調整に関する質問紙調査において、自分のペースで見通しをもって学びを進める安心感の向上が見られた。一方で、「友達と励ましあって学習を進める」「困っている友達がいたら助ける」といった協働性や難しい問題に取り組む持続性に課題が見られた。複式学級での学習指導も合わせて、主体的・対話的で深い学びを促す「協働的な学び」について授業改善を進め、引き続き「自分ならできる」「きつとうまくいく」といった自己効力感を高めていく必要がある。

【豊かな心】

○異年齢集団での関わり合いや児童の自治的活動の充実を図ったことで、児童アンケート「友達と協力して活動している児童の割合が 90%を超えた。総合的な学習での学びや縦割り班遊び、サークル対話、クラブ・委員会活動などにより互いのよさを認め合い、高まっていく学習集団へと育っている。

○「さとうみ学習」や地域資源を学びの要素として取り組んだことで、自分の住んでいる地域が好きな児童が 90%を超えた。体験(input)や表現活動(output)を通して地域との深い関わりによって地域を愛する心が育っている。

【健やかな心と身体】

○主体的に健康な生活習慣を身に付けさせるために、がんばりウィーク(生活カード)や保健指導、保健だよりによる保護者啓発などの取組を進めてきた。早寝・早起きやメディアコントロールについて児童の意識は高まっているが、保護者が感じている実態との間にずれが見られた。

○継続的な業間運動や授業始めのサーキットトレーニングなどにより主体的に体力・運動能力の向上には一定の成果が見られた。

【信頼される学校】

○情報発信への満足度は高かったが、相談体制への満足度は目標値を下回り、保護者や地域の声を受け止める体制が十分でない。

○教職員の働き方改革の満足度は高くなかったが、職場の働きやすさを十分感じていた。教職員間のコミュニケーションを活発にすることで、安心して働きやすい職場となっている。

IV 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
【確かな学力】 児童の主体的な学びを促し、学力・学習意欲の向上を図る。	児童が主体的・協働的に学ぶ力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・单元内自由進度学習を中心とした、選択肢や自己決定のある授業を行う。 ・複式の学習指導における間接指導などを通して、自ら考え、教え合う授業づくりを進める。
	個々の学びの定着度を見極め、学力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の理解や進度に合わせてタブレットドリル等を効果的に取り入れるなど、ICTを積極的に活用する。 ・読むことや書くことなど学びの基盤となる学習活動の充実を図る。 ・読書に親しませ、読書習慣の定着を促す。
【豊かな心】 地域を愛する心と協働を基軸とした人間関係を育成する。	協働的な体験活動や表現活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級での計画的なサークル対話の実施。 ・異年齢集団の関わり合いと、児童の自治的な活動の充実を図る。
	地域を愛する心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「さとうみ学習」や、地域の「ひと、もの、こと」とのつながりを意識した学習活動の充実を図る。
【健やかな心と身体】 健康的な生活習慣の基礎を培うとともに児童の体力を向上させる。	主体的に基本的な生活習慣を身に付けようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとの「がんばりウィーク」の実践を通して、目標を意識した生活を過ごさせ、自己の生活習慣について振り返らせる。 ・学活や全校保健指導などで基本的な生活習慣やメディアコントロールについて指導を行う。
	主体的に体力・運動能力を向上させようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた業間運動の実施。 ・持久走大会やなわとび検定など児童の意欲を向上させる体育的行事の企画・実施を行う。 ・授業前に体力の課題に即した、サーキットトレーニングの導入。 ・体力づくりコーナーを設置する。
【信頼される学校】 保護者・地域とともに安心・安全な学校づくりを進める。	保護者や地域と協働し合える環境をつくり、学校満足度の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者に対して迅速かつ丁寧な対応を行う。 ・地域学校協働活動の持続可能な取組を進める。 ・学校の取組の様子をタイムリーに発信する。
	働き方改革の推進。 (仕事のやりがい)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員からの意見を収集し、業務改善を積極的に進める。 ・心理的安全性のある働きやすく、働きがいのある職場づくりを行う。

V 育てたい資質能力

教育目標との関係	自ら学び		ともに伸びる	
	主体性	自己効力感	共感力	表現力
資質・能力	自ら考え、学ぶことで自己調整できる。	目標達成のための力をもっていると認識する。	他者を認め、協働する。	伝えたい思いをもち自分らしく表現する。